

## システム情報工学研究科特定課題研究報告書概要

年 度	平成 26 年度	学 位 名	修士( ビジネス )
専 攻	経営・政策科学	専 攻	著者氏名 小林 正典
指導教員氏名 倉田 久			
報告書題目 学食サービス提供オペレーションの分析と混雑解消提案 (学食混雑オペレーションのシミュレーションによる評価・考察)			
報告書概要  <p>本報告書では、第三エリア学食の混雑改善提案を行うため、Arena ソフトウェアを用いたシミュレーションを用いて分析・考察を行う。シミュレーションでは第三エリア学食にて実際に収集したデータを用い、より現実的なモデルの構築に努める。本稿では学食でのボトルネックを発見し学食混雑における実際の問題点を探ることで、学生意見が本当に学食混雑問題における改善提案として利用可能か調査する。更に学生意見以上に効果の現れる提案を探し出す事を目的とする。</p> <p>構成は、6.1 論文序論 6.2 課題検証 6.3 経営示唆・まとめからなっている。論文序論では、調査背景先行研究、調査データ概要そしてモデル構築と研究課題設定についてを述べている。課題検証では従業員人数、改善目標値の設定、商品提供ブース配置変更という3つのアプローチから混雑改善提案を行った。経営示唆・まとめでは課題検証で得られた結果をもとに議論を行い具体的な改善提案を行った。</p> <p>本研究の結果として、学食のメインブースである定食・丼メニュー提供ブースがボトルネックであることが判明した。実際の学食観察でもこのポイントが最も混雑しておりシミュレーションが現実を上手く再現できていると考えられる。改善提案としては、調査課題の3である商品提供ブース配置変更が最も混雑改善につながる提案であることが示された。ブース変更に伴い顧客の選択率の低いメニュー同士を同じブースとすることで、ブースごとの人気の偏りを減少させることに成功し、混雑の分散に繋がったことがその効果の高さの原因であると考えられる。</p>			
審査日	平成 27 年 1 月 26 日		
審査員	(大学名 職名)	(学位)	(氏名)
主査	筑波大学 教授	工学博士	岸本 一男
副査	筑波大学 講師	博士(学術)	近藤 文代
副査	筑波大学 准教授	Ph.D.in Management Science	倉田 久